

掛川市監査委員告示第2号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、別紙のとおり結果を公表する。

令和8年2月20日

掛川市監査委員 杉 山 正

掛川市監査委員 山 本 行 男

令和7年度

定期監査結果報告書

掛川市監査委員

[目 次]

	[頁]
第 1 監査の種類	1
第 2 監査の実施期間	1
第 3 監査の対象等	1
第 4 監査の方法	2
第 5 監査の結果	2
1 経営企画部	2
2 人事・総務部	4
3 財務部	5
4 生涯学習まちづくり部.....	6
5 暮らし環境部	7
6 健康福祉部	8
7 こども希望部.....	10
8 産業経済部	11
9 都市建設部	12
10 上下水道部	13
11 危機管理部	14
12 出納局	15
13 教育部	15
14 議会事務局	16
15 消防本部	17
第 6 意見	18
1 経営企画部	18
2 人事・総務部	19
3 財務部	20
4 暮らし環境部	21
5 健康福祉部	22
6 都市建設部	23
7 教育部.....	24

8	議会事務局	26
9	消防本部	26

第1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定による定期監査

第2 監査の実施期間

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、令和7年11月11日から令和8年2月16日までの間において、期日を定めて監査を実施した。

第3 監査の対象等

監査の対象		本監査	監査の範囲
経営企画部	企画政策課 秘書課 マーケティング課 DX推進課	令和7年11月11日	令和7年4月1日から 同年9月30日まで
消防本部			
くらし環境部	環境政策課 くらしデザイン課 市民課	令和7年11月19日	
健康福祉部	健康づくり推進課 地域包括ケア推進課		令和7年4月1日から 同年10月31日まで
健康福祉部	福祉課 長寿推進課	令和7年12月11日	
教育部	図書館		
健康福祉部	国保年金課		
都市建設部	都市政策課	令和7年12月17日	
教育部	こども給食課		
都市建設部	土木防災課 維持管理課		
人事・総務部	行政課	令和7年12月23日	
議会事務局			
財務部	財政課		
教育部	教育政策課 学校教育課		令和7年4月1日から 同年11月30日まで
財務部	納税課 市税課 資産税課	令和8年1月14日	

監 査 の 対 象		本 監 査	監 査 の 範 囲
人事・総務部	人事課 資産経営課	令和8年1月20日	令和7年4月1日から 同年11月30日まで
生涯学習 まちづくり部	協働推進課 文化・スポーツ振興課 地域未来共創課	令和8年1月21日から 同年1月30日まで	令和7年4月1日から 同年11月30日まで
こども希望部	こども政策課 こども保育支援課 こども相談課		
産業経済部	産業観光課 農林課 お茶振興課		
上下水道部	水道課 下水道課		
危機管理部	危機管理課		
出納局			

第4 監査の方法

主として令和7年度における事務事業及び予算の執行が関係法令に基づき適正に執行されているかに主眼を置き、監査の対象部署から提出された資料、諸帳簿その他関係書類の検査を行うとともに、関係職員から説明を聴取した。

第5 監査の結果

監査した結果、事務事業や財務に関する事務の執行等については、おおむね適正に処理されているものと認められた。

なお、事務の一部において、是正・改善を要する事項が見受けられたので、早期に是正・改善策を講じられたい。また、監査の際に見受けられた財務会計上の軽微な事務処理誤り等については、その都度対象部署に対して指導した。

【経営企画部】

（企画政策課）

（1）委託事業

7件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

2件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(秘書課)

(1) 委託事業

4件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

新規1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 郵券等の管理状況

切手を購入し使用したが、郵券受払簿に記載がなかった。購入後、直ちに使用する場合においても記載するよう指摘した。

(4) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

(マーケティング課)

(1) 委託事業

12件のうち7件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(DX推進課)

(1) 委託事業

37件のうち5件について関係書類を審査した結果、おおむね適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存3件について実地調査したところ、おおむね適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

【人事・総務部】

（人事課）

(1) 委託事業

26件のうち4件について関係書類を審査した結果、請負業者からの再委託承認申請書の提出に対して通知すべき再委託承認決定通知書が発出されていなかったため、指摘した。

(2) 補助金等の交付

3件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（2件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（行政課）

(1) 委託事業

34件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(4) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（資産経営課）

(1) 委託事業

71件のうち5件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

7件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

24件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認

したところ、適正に運用されていた。

(7) 基金の管理状況

基金台帳（1件）の提出を求めたところ、適正に運用されていた。

【財務部】

（財政課）

(1) 委託事業

2件のうち1件について関係書類を審査した結果、おおむね適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 基金の管理状況

基金台帳（5件）の提出を求めたところ、適正に運用されていた。

（納税課）

(1) 委託事業

2件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(4) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（市税課）

(1) 委託事業

14件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存2件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(4) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

(資産税課)

(1) 委託事業

8件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

【生涯学習まちづくり部】

(協働推進課)

(1) 委託事業

40件のうち5件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

27件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

44件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

(文化・スポーツ振興課)

(1) 委託事業

71件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

26件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

8件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿を確認した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（2件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（地域未来共創課）

(1) 委託事業

7件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

3件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

【くらし環境部】

（環境政策課）

(1) 委託事業

55件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

12件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

9件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（2件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（くらしデザイン課）

(1) 委託事業

2件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

7件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(市民課)

(1) 委託事業

7件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

新規2件、既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(4) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル(1件)の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【健康福祉部】

(福祉課)

(1) 委託事業

37件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

9件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存2件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、3冊のうち1冊において所属長の確認が行われていなかったため、指摘した。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル(1件)の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

(健康づくり推進課)

(1) 委託事業

25件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

1件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

2件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

既存15件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されてお

り、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(長寿推進課)

(1) 委託事業

43件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

3件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（2件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

(国保年金課)

(1) 委託事業

22件のうち5件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(4) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

(地域包括ケア推進課)

(1) 委託事業

48件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

3件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

移管36件、既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整

備されており、おおむね適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（2件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【こども希望部】

（こども政策課）

(1) 委託事業

23件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

30件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（こども保育支援課）

(1) 委託事業

20件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

3件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

(こども相談課)

(1) 委託事業

15件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

11件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

新規6件、既存3件について実地調査したところ、新規備品において、備品台帳が未作成のものがあつたため、指摘した。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

【産業経済部】

(産業観光課)

(1) 委託事業

52件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

1件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

19件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

既存2件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(農林課)

(1) 委託事業

78件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

14件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

18件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、おおむね適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（3件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（お茶振興課）

(1) 委託事業

4件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

18件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（3件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【都市建設部】

（都市政策課）

(1) 委託事業

9件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

6件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

6件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

既存3件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、おおむね適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（土木防災課）

(1) 委託事業

21件のうち5件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

104件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 用地費の執行

2件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 補償費の執行

5件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(5) 備品の管理状況

新規2件、既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(6) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(7) 公金マニュアルの運用状況

預り金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、マニュアル通りの運用が行われていなかったため、指摘した。

(維持管理課)

(1) 委託事業

109件のうち5件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

62件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

3件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【上下水道部】

(水道課)

(1) 委託事業

21件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

43件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（下水道課）

(1) 委託事業

37件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

136件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

1件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

既存3件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、おおむね適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【危機管理部】

（危機管理課）

(1) 委託事業

23件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

8件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

6件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【出納局】

（出納局）

(1) 委託事業

1 件のうち 1 件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 備品の管理状況

既存 1 件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(3) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1 件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【教育部】

（教育政策課）

(1) 委託事業

108 件のうち 7 件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

117 件のうち 2 件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存 4 件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（3 件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

（学校教育課）

(1) 委託事業

47 件のうち 4 件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

126 件のうち 1 件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存 2 件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(こども給食課)

(1) 委託事業

41件のうち5件について関係書類を審査した結果、おおむね適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

2件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存2件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル(1件)の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

(図書館)

(1) 委託事業

25件のうち4件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

3件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

新規2件、既存3件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、おおむね適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、受払簿について、郵券の種別ごとの枚数の記載に不備があり、受払簿残数と現物残数が不一致であったため、指摘した。

(5) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル(1件)の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【議会事務局】

(議会事務局)

(1) 委託事業

5件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 補助金等の交付

10件のうち2件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 備品の管理状況

既存1件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されてお

り、適正に処理されていた。

(4) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

【消防本部】

（消防本部）

(1) 委託事業

12件のうち3件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(2) 工事の執行

4件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(3) 補助金等の交付

3件のうち1件について関係書類を審査した結果、適正に処理されていた。

(4) 備品の管理状況

新規3件について実地調査したところ、適正に管理されていた。備品台帳は、整備されており、おおむね適正に処理されていた。

(5) 郵券等の管理状況

郵券受払簿と郵券等を突合した結果、適正に処理されていた。

(6) 公金マニュアルの運用状況

公金マニュアル（1件）の提出を求め、当該マニュアルに沿った運用がなされているか確認したところ、適正に運用されていた。

第6 意見

地方自治法第199条第10項の規定に基づき、監査の結果に関する報告に添えて、次のとおり意見を提出するので、今後の事務処理の参考とされたい。

なお、本年度、掛川市が事務局を務める「島田・磐田間バイパス建設促進期成同盟会」及び「県道大須賀掛川停車場線整備促進期成同盟会」の預り金について、令和4年度からの私的流用が発覚した。預り金については、法令等によりその管理方法が定められているものではないが、公金に準じた厳正かつ適正な事務処理が求められる。今回の事案が発生したことは、市に対する市民の信用を著しく損なわせるものであり、誠に遺憾である。今後は、二度とこのような事態を招かないよう、再発防止に向けて効果的な対策を講じ、適切な事務処理を行うよう強く望む。

【経営企画部】

（企画政策課）

- (1) 現在策定中の第3次掛川市総合計画では、DEI、DX、共創を基本理念とし、ビジョンマップやウェルビーイング指標の設定など新たな取組を行っているとの説明を受けた。また、住民ワークショップ等を通じて、市民の幅広い意見を取り入れる工夫が見られた。計画策定後は、市民への周知はもちろん、市民が総合計画を自分事として捉え、主体的に行動できるよう、さらなる工夫と目標達成に向けた取組をされたい。
- (2) DXの推進について、「未来に向けて誰もがつながるまち」の実現を目指し、「手のひら市役所」、オンライン申請の導入と利用率向上の推進を進め、年間60万件申請のうち、80%がオンライン化され、34%の利用率であると説明を受けた。さらなる市民の利便性向上を図り、「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」の実現に期待する。また、DXリーダーの育成支援を継続し、各課の業務改善を牽引し、デジタルによる変革を推進されたい。

（秘書課）

- (1) 本年度から、秘書業務が単独の課となり、市長や副市長のスケジュール管理や随行業務を専門的に担う体制が整えられた。これまで以上に、各部署との連絡調整機能を発揮するとともに、市長及び副市長の公務の円滑な執行を補佐していただきたい。また、市長の市内外での活動は、掛川市政の対外的なPRとして重要であるため、効率的かつ効果的に秘書業務を進められたい。

（マーケティング課）

- (1) ふるさと納税について、本年度10億円を目標としているが、9月時点で寄附金額が2億2,440万円にとどまっている。このため、寄附者のニーズに応える返礼品の掘り起こしや新商品企画に取り組んでいるとの説明を受けた。今後も、掛川市の魅力発信と地場産品の販路拡大による地域経済活性化を目的に、産業分野と連携し、返礼品が特産品としても定着するような

施策を進め、寄附金額の増加に尽力されたい。

- (2) シティプロモーションの推進について、小笠山総合運動公園エコパでのイベント開催時に、人流データを収集し、データに基づく情報発信や交流人口・関係人口の拡大に向けて検討を始めたとの説明を受けた。今後は、全庁横断的な人流データの活用を進めるとともに、掛川市のブランドイメージの強化及び認知度向上を図られたい。

(DX推進課)

- (1) 令和7年2月に導入された生成AI「掛川AIエージェント」は、掛川市独自データを活用できる安全な環境が整備され、10月2日から個人情報の利用も開始された。職員への情報セキュリティポリシーと実施手順の周知により、生成AIの適切な運用を図り、業務効率化や職員の負担軽減、業務の質の向上を期待する。
- (2) 令和8年1月に統合内部システムが更新され、令和8年度から、財務事務の電子決裁を本格運用していくとのことであった。システム更新による事務処理ミスが発生しないよう、関係課と連携して、遺漏のないよう円滑なシステム運用に万全を期されたい。

また、デジタル関係予算は年々高止まりであることから、費用対効果を十分検討し、DXの推進に尽力されたい。

【人事・総務部】

(人事課)

- (1) 職員のエンゲージメントサーベイについては、結果を分析し、全職員へのフィードバックを行っているとの説明を受けた。今後は、未回答者の状況や回答内容の分析を通じて、より実効性のあるエンゲージメント向上施策を実行されたい。特に、1オン1面談等を通じた風通しの良い職場環境の構築や、所属長の適切なリーダーシップが発揮される取組を推進されたい。
- (2) 人事評価については、評価のばらつきがあることが課題であるとの説明を受けた。そのため、評価者の評価能力の向上を図り、評価の判断の差を無くすことが求められる。また、被評価者が評価に納得できるよう、評価基準の透明性・公平性を徹底するとともに、人材育成に繋がる仕組みづくりも検討し、適正かつ実効性のある人事評価体制の充実に努められたい。

(行政課)

- (1) 本年度は、市長選挙、市議会議員選挙及び参議院議員通常選挙が滞りなく実施されたが、投票率の低下が課題であるとの説明を受けた。現在、共通投票所の導入、投票所の統廃合による効率化、山間部での移動投票車の導入を検討しているとのことであるが、当該施策を着実に推進し、有権者の利便性を高め、投票率の向上に繋がられたい。

- (2) 国勢調査については、調査員の確保が非常に困難であるため、多数の市職員を調査員に委嘱したとの説明を受けた。調査員にかかる負担を軽減するための対応策を検討するとともに、外部委託を含め、調査員確保の取組を進められたい。

(資産経営課)

- (1) 公共施設マネジメントについては、単なる施設の削減だけではなく、施設の統廃合の機会を活用して施設サービスの質的な向上を図る「縮充」の考え方を元に、公共建築物の延床面積を将来的に25%縮減が目標であるとの説明を受けた。目標の達成に向けては、市民や地域住民の意向を十分踏まえ、公共施設の在り方を検討し、公共性及び公益性に十分配慮しながら、持続可能な公共施設マネジメントを推進されたい。
- (2) 庁舎等の管理については、築年数が経過し老朽箇所が増加しているとの説明を受けた。今後、市民サービスの維持・向上を図るため、予防保全や長期的視点での計画的な維持修繕と適正な管理に努められたい。また、庁舎等の施設には、市民の大切な窓口としての役割があることを十分認識し、快適で安全な利用環境の確保に尽力されたい。

【財務部】

(財政課)

- (1) 本市の財政状況は厳しく、人件費、物件費及び扶助費の増大や、学校再編及び新廃棄物処理施設整備など、より一層の歳出増加が見込まれる一方、財政調整基金が減少しているとの説明を受けた。住民の福祉の増進を第一に考え、これまで以上に財源確保と経費節減を図り、経営戦略と連動した、効率的かつ持続可能な予算編成を進めるとともに、計画的に財政調整基金を積み立てられたい。

また、本市の財政状況の実情を積極的に公表し、市民の納得を得られる財政運営を図られたい。

(納税課)

- (1) 収入率の向上のために、期限内納付に繋がるWeb口座振替受付サービスの導入、外国人滞納者に対する税制の理解促進及び滞納整理に取り組んできた、一方で、債権管理については、これまで以上に効率的かつ持続可能な体制整備が求められているとの説明を受けた。そのため、これまで実施してきた事業をさらに推進するとともに、個人情報保護法等を踏まえ、専門家の知見を活かしながら、全庁的な債権管理一元化体制の早期構築に努められたい。

(市税課)

- (1) 標準準拠システムへの移行や税制改正、個人住民税の電子申告の開始など、制度改正やシス

テム変更に対し、適正かつ丁寧に取り組まれていると見受けられた。今後も、制度改正やシステム変更への円滑な対応を図るとともに、一層の国税と地方税間の相互協力を推進し公平かつ適正な課税に尽力されたい。

(資産税課)

- (1) 固定資産税は、安定的な財源として極めて重要であり、今後も公平な課税が求められる。そのため、職員研修やOJTの強化による実務能力の向上、課税客体の正確な把握と公正な評価の徹底、償却資産の申告促進、及び実地調査の強化が不可欠である。引き続き、効率的かつ効果的な業務運営に努め、公平かつ適正な課税に尽力されたい。

【くらし環境部】

(環境政策課)

- (1) 本市は、14年連続で1日1人あたりのごみ排出量が少ない自治体ベスト3（人口10万人以上50万人未満）に入る成果を挙げているとの説明を受けた。現在、環境資源ギャラリーでは、ごみの全量外部搬出が行われており、ごみ減量が市の負担金軽減に直結する状況である。使用済み紙おむつ再資源化事業や製品プラスチック資源循環事業も実証実験中であるが、引き続き、リデュース、リユース、リサイクルの促進、ごみの分別の徹底等を行い、さらなるごみ減量に向けた取組を進められたい。

(くらしデザイン課)

- (1) 移住・定住の推進については、移住フェアへの出展や出張相談会の実施、移住サイトの運営、移住就業支援金の活用、保育園留学、移住コーディネーターによるフォローなど、多岐にわたる施策が展開されている。引き続き、移住・定住の推進と満足度向上を目指し、移住希望者への寄り添った支援を行い、丁寧かつ効果的な取組を推進されたい。
- (2) 少子高齢化等により空き家が増加しているが、空き家対策では「予防・活用・解体」の推進が重要であるとのことであった。防災・防犯の観点からも、問題が生じる前に、所有者に活用や処分を促す予防策を進めるとともに、既存の空き家については、地域活性化に貢献する施設への転換や子育て世代への売却などの活用を推進されたい。また、放置空き家について、関係機関や地元地区と密接に連携し、解消対策と予防対策を並行して進められたい。

(市民課)

- (1) マイナンバーカードの実交付率は、全国平均を上回る84%とのことであった。健康保険証利用の影響もあり、市民生活にかなり普及してきている。一方で、5年に1度の電子証明書の更新は窓口対応となっており、11月19日より事前予約制を導入するとのことである。今後とも、マイナンバーカードの業務については、来庁者の負担軽減を図りながら、正確に滞りなく手続

を進められたい。

- (2) 窓口業務では、記入支援機器「パシッドスキャン」の導入により、市民負担の軽減が図られている。また、手続の種類や関係部署を市民自身で調べるための「手続支援ナビゲーションシステム」の導入も進めているとのことであった。引き続き、書かない窓口の推進と市民が窓口に来なくても手続ができるような体制づくりを進めるとともに、職員の負担軽減を図りながら、さらなる市民サービス向上に努められたい。

【健康福祉部】

（福祉課）

- (1) 本年度策定される第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画では、市内5か所の「ふくしあ」を拠点とし、地域ごとの特性に応じた活動プランを盛り込んでいると説明を受けた。支援を要する人に適切な福祉サービスが届くよう、社会福祉協議会をはじめとする関係団体や企業、地域住民との連携を強化されたい。また、住み慣れた地域で一人ひとりの生き方が尊重され、地域住民が主体となる福祉活動を推進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりに尽力されたい。
- (2) 児童発達支援については、新たな事業所が開設され、療育体制の充実に繋がっているが、一方で、放課後等デイサービスの託児化の傾向や、障害児支援利用計画を作成する相談支援専門員の充実が課題である。また、認定こども園等では、療育や医療的ケアの必要な子どもが増加しているとの説明を受けた。今後も、保護者ニーズを踏まえつつ、子どもたちの健やかな成長を支える環境整備を期待する。

（健康づくり推進課）

- (1) 本年度より、「かけがわ健幸サポーター制度」が開始された。サポーターは、9月までに養成講座を受講し、保健師と地域に出向いて活動をしているとのことであるが、今後も、サポーターが円滑に活動できるよう、引き続き、支援されたい。
- (2) 本年度、「新型インフルエンザ等対策行動計画」と「かけがわ生涯健幸プラン（掛川市第3次健康増進計画・第4次食育推進計画）」の改定作業が進められている。前者では、幅広い感染症による危機に対応できる社会を目指すことが求められている。また、後者では、すべての人が胎児期から高齢期まで一貫して、心身ともに健やかで幸せに暮らせる社会を目指すことが求められている。両計画を元に、実効性のある施策を確実に推進することで、市民の健康増進に寄与されたい。

（長寿推進課）

- (1) 養護老人ホーム「ききょう荘」と「小笠老人ホーム」については、両施設とも老朽化が進み、

入所者が減少傾向にあり、持続可能な運営のため、両施設の統合が急務となっている。今後、統合を円滑に進め、地域福祉の充実に寄与されることを期待する。また、養護老人ホームについてのさらなる周知を行い、潜在的な対象者が見落とされることのないよう、丁寧な情報提供と適切な支援を期待する。

- (2) 配食サービスについては、栄養改善や食事確保に加え、配達時の安否確認という重要な役割を担っている。引き続き、地域包括支援センターやケアマネジャー等と連携し、適切なサービスが提供できるよう努められたい。一方、民間企業の配食サービスがある中で、配食回数やサービス内容についての検討も視野に入れ、効率的かつ効果的な事業運営を推進されたい。

(国保年金課)

- (1) 国民健康保険特別会計については、県が示す標準税率と大きく乖離していること、一般会計からの法定外繰入金や国保事業基金の取り崩しにより運営されていることが課題である。そのため、保険税率の見直しを含めた抜本的な収支改善に取り組むことが急務であると説明を受けた。税率の見直しについては、被保険者への丁寧な説明と理解を得る努力が不可欠である。併せて、長期的視野に立ち、持続可能な制度運営を目指した取組に尽力されたい。
- (2) 国民健康保険の予防事業では、特定健診の節目年齢者の自己負担額を無料化する施策や、ナッジ理論に基づくAI活用のお知らせ通知の発送など、受診率の向上に努めるとともに、データヘルス計画に基づき、要医療者への受診勧奨や訪問指導も行っているとの説明を受けた。今後も、予防事業を強化し、被保険者の健康増進と医療費削減の両立を目指すことを期待する。

(地域包括ケア推進課)

- (1) 地域医療体制の整備については、南部地域の診療所数の減少が課題となっているが、立地条件や開業費用の高騰、診療報酬の伸び悩みなどの課題から進展が見られない状況であるとのことであった。少子高齢化が進む中、移動が困難な地域住民への対応として、様々な医療体制の検討が求められる。医療MaaSや遠隔診療の導入の可能性を研究するとともに、引き続き、医師会と連携し、誘致策や事業承継支援を進め、市民が安心して暮らせる医療体制の確立に尽力されたい。

【都市建設部】

(都市政策課)

- (1) 都市計画策定事業については、民間による水垂地区土地区画整理事業や、南西郷地区の土地利用構想策定の検討等を進めており、都市再生整備計画事業については、物価高騰による工事費の増加が課題であるとの説明を受けた。引き続き、長期的視点に立ち、将来を見据えた都市づくりを進め、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づいた、多極ネットワーク型

コンパクトシティの構築及び災害に強いまちづくりの推進に尽力されたい。

- (2) 市営住宅事業については、セーフティネットとしての重要な役割を担っている。老朽化が進む施設については、令和2年度に策定された掛川市営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な修繕を進められたい。また、入居率の低い市営住宅の集約化や民間賃貸住宅の活用を視野に入れ、効率的な維持管理を図り、安全で快適な住宅の確保に努められたい。

(土木防災課)

- (1) 道路整備事業については、国庫補助金の交付率低下や物価高騰の影響により、事業の進捗が鈍化し、長期化している。また、幹線道路整備や生活道路に対する地元要望への対応に対する予算確保が課題であるとの説明を受けた。今後は、特に交通安全対策及び浸水対策を優先し、市民の生活環境の向上や安全確保を目的とし、計画的な道路整備に尽力されたい。
- (2) 海岸防災林強化事業「掛川モデル」については、盛土工の計画土量が概ね確保でき、令和8年度の完成に向けて順調に進んでいるとの説明を受けた。今後も、関係機関と密に連携し、事業を着実に推進されたい。また、掛川市海岸線地域ビジョンを踏まえ、事業完了後の海岸防災林の利活用方法を積極的に検討し、地域の防災力向上と南部地域の発展に繋がる取組を検討されたい。

(維持管理課)

- (1) 道路の維持管理については、予算確保が充分でないとの説明を受けた。今後も、予算確保が厳しい状況ではあるが、予防保全の維持管理を念頭に、舗装長寿命化計画を早期に見直し、計画的な維持管理に努められたい。
- (2) 橋梁の維持管理については、約1,230の橋梁のうち、耐用年数の経過により補修が必要な橋梁が増加しているとの説明を受けた。安全性を最優先に考慮し、法定点検の結果に基づき優先順位を検討し、計画的な補修を推進されたい。また、将来的には、周辺環境の状況を十分に考慮しながら、橋梁の廃止や集約化についても検討されたい。

【教育部】

(教育政策課)

- (1) 学校再編事業については、令和5年度に策定した学校再編計画に基づき検討を進め、特に、原野谷学園は、本市初の小中一貫校として本年度から設計業務に着手し、令和11年4月の開校を目標にしているとの説明を受けた。一方で、物価高騰等による事業費増大の可能性、開校後の通学路の安全確保等が重要な課題であるとのことであった。子ども達の教育環境の整備を最優先として、通学路安全対策及び開校準備委員会の運営体制を検討し、関係者との対話を丁寧

に行いながら、着実に事業を推進されたい。

- (2) 部活動地域展開推進事業については、令和8年度の地域クラブ体制への移行に向け準備を進めているが、指導者確保、活動場所の確保、保護者の費用負担と多くの課題が残っているとの説明を受けた。引き続き、子ども達が安心して文化・スポーツ活動に取り組める環境づくりを最優先に、関係課や関係団体等と連携を図り、持続可能な体制づくりに尽力されたい。

(学校教育課)

- (1) 特別な配慮や支援が必要な児童生徒の増加に伴い、学校サポーター等の人員確保と支援体制の充実が引き続き課題であるとの説明を受けた。引き続き、すべての子ども達が安心して学校生活を送ることができる体制づくりに尽力されたい。また、園から学校への円滑な引継ぎや関係機関との連携強化等、児童生徒一人ひとりに寄り添った切れ目のない支援体制の構築を期待する。
- (2) 外国人児童生徒への指導・支援については、今後も需要の増加が見込まれる。日本語初期指導教室「虹の架け橋」事業の継続及び充実を図るとともに、編入学後は、外国人児童生徒等支援員の派遣や、母語によるオンライン個別学習支援等を行うことにより、外国人児童生徒と保護者が安心して学校生活を送ることができるよう、引き続き、きめ細やかな支援に努められたい。

(こども給食課)

- (1) 学校給食の推進については、本年度も、保護者負担を増やすことなく必要な給食材料費を確保するため、国の交付金を活用しながら、学校給食を提供しているとの説明を受けた。国の「公立小学校の給食費の抜本的な負担軽減」政策の動向を注視するとともに、給食の質を維持し、安全・安心で栄養バランスの取れた学校給食の提供に努められたい。
- (2) 食物アレルギー対応については、対象となる園児、児童及び生徒が増加傾向にあり、「掛川市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」に基づき、除去食など状況に応じた適切な対応を行っているとの説明を受けた。今後も、学校や保護者との面談を通じて情報共有を密に行い、食物アレルギーの子どもたち一人ひとりに寄り添った対応に尽力されたい。

(図書館)

- (1) 図書館運営については、限られた予算の中で、利用者のニーズを的確に捉えた選書を行うとともに、紙媒体とデジタル図書を有効活用し、蔵書の充実に努められたい。また、図書館がより広く市民に親しまれる施設となるよう尽力されたい。

- (2) 本年度、新たに移動図書館車2台が寄贈されたとの説明を受けた。今後は、利用者ニーズを踏まえ、既存の移動図書館車と併せて効果的な運用を図り、地域住民が楽しみながら利用できるサービスの提供を期待する。

【議会事務局】

(議会事務局)

- (1) 令和7年4月の市議会議員選挙では、新たな議員が7人当選し、市議会の構成も大きく変更となった。議会事務局は、議会運営を補助する機関であるため、円滑な議会運営が図られるよう、議員や議会全体の支援に尽力されたい。
- (2) 市議会の広報については、議会だよりやホームページを通じて、市民に議会活動を伝える重要な役割を担っている。今後は、紙媒体とデジタル版の併用を含めた効果的な発信方法を検討し、市民がさらに議会活動を身近に感じられるよう努められたい。

【消防本部】

(消防本部)

- (1) 本年度の救急件数は、過去最多を記録した令和6年度を超え、年間5,000件以上の出動が見込まれるとの説明を受けた。特に、65歳以上の救急搬送が多い状況を踏まえ、救急車の適正利用を啓発する広報活動の強化と、併せて、「救急安心電話相談窓口（#7119）」のさらなる活用促進を期待する。加えて、ドクターカーとの連携強化や機動日勤救急隊（仮称）の令和8年度設置に向けた準備を進め、救急体制の充実を図られたい。
- (2) 消防団については、少子高齢化や地域貢献への希薄化など、新入団員の確保は依然として厳しい状況である。引き続き、団員の負担軽減や勤務先への活動に対する協力依頼等を実施することにより、入団・活動しやすい環境整備を図り、持続可能な消防団組織の構築に取り組まれたい。